

1

ウ
断
け
さ
プ
エ
葉

ラ
ベル
はり
イ
ウ

異
化
ア
ウ

残念
成功
登場

感覚
前進
洋館

周
り

イ
イ
ウ
ア
オ

岸
ん
ピ
く

黒
サ
所
ア
音楽

ひとり
じめ
エ
た
く
な
る
。

1

日本
の
家
電
製
品
は
買
う
の
に
、
日
本
人
や
日
本
文
化
に
は
興
味
を
持
た
な
い
で
サ
ム
ラ
イ
の
イ
メ
ー
ジ
だ
け
を
持
つ
と
こ
ろ
。

(同意可)

配点	
11	各2点×7=14点
16	6点
その他	各4点×20=80点
100点	

1

「あてはまらないもの」を選ぶことに注意しよう。ステレオタイプとは、「断片的な印象から大きっぱに類型的な形づけを行なってしまうこと」であった。ウは単に根拠のないことを考えているだけである。

2 「ステレオタイプ」についての説明は最初の段落にあったので、こちらをもとにして考えていく。目の前の「異文化を持つ他者」に対し、「ステレオタイプの」な理解に縛られずに一人の人間として接する、という考え方を持つことを、「ステレオタイプを超えるような理解」と表現しているのである。

3 線③の直前の段落の具体例が「そういう」の指示内容であった。「どういう言葉ですか」という問いに合わせてさがしていけば手早く答えを見つけれただろう。

4 「比喩表現」という指示に注目したい。「十把ひとからげ」は「ひとからげ」だけでは設問の要求には合わない。ちなみに「ラベル」とは貼り紙、貼り札のことである。

5 やや珍しいタイプの問題だが、前後の段落の内容を照らし合わせて考えよう。前の段落は「日本の工業製品の価値が世界で認められているのは事実」という内容であり、後の段落は「その工業製品を作り出す日本人、日本社会（・文化）への世界の関心は高まっているのか？ ↓高まっているとは言えない」という流れであった。「製品」から「製作者（やその社会・文化）」への話題転換ともとれるし、「製品の価値が高い」↓だから「製作者の価値も高い？（↓しかしそうとは言えない）」ともとれる。さらに「製品の価値は高い」↓しかし「製作者の価値は高いとは言えない」とつながっているとも考えられる。前の段落の具体例を後の段落で示しているわけではないので「たとえば」は不適当である。

6 「当時のアメリカ人」とは「二十年以上前のアメリカ人」を指しているの、——線⑤を含む段落をまとめればよい。そもそも「二十年以上前のアメリカ人」の話は問5でふれたXを含む段落の具体例として述べられていたことを考えれば、答えの方向性も決まるだろう。「興味」という指定語句を使うことにも注意しよう。

7 筆者のタイでの体験の話の中で、「このとき非常に恐ろしいと思ったのは…」と述べられていた。仲良く付き合っていたはずのタイ人の友人たちの態度の変化に対して、筆者が抱くマイナスの感情を的確に示した選択肢を選ぶ。

8 設問をよく読もう。解く手順としてはもちろん指示内容をたどるべきだが、指示内容と「同じ内容の表現」を答える問題である。「タイ人」・「インドネシア人」たちの例で示された、「別の国の人間に対する態度」を十二字で表したことをさがす。

9 文章全体のテーマである「ステレオタイプ」にふれている表現を選びたい。イ・ウ・エはいずれも一部分の話題しか示していない。10 正誤問題では、文中に根拠を求めることが肝要である。ウの「家電製品を競って買っていた」のは、「フランス人」ではなく「二十年以上前のアメリカ人」であった。

11 a 「残念」は特に難しくはないが、「残」の十画目を書き忘れないように気をつけよう。b 「成功」も基本的な熟語だが、「功」を「攻」「行」などと書き間違えないようにしたい。c 「登場」は「場」の八画目のよこぼうを書き忘れないように注意しよう。

2

1 a 「感覚」は「覚」の「一」三画目を「賞」のように書かずに「ツ」の形を守りたい。b 「前進」は「全身」と書かないように。文脈に沿った漢字を選ぶ。c 「洋館」の「館」の左側を「食」と書かないように注意しよう。d 「周り」は「回」と混同しないように。

2 この後を読み進めていけば、「岸谷沙耶」が亡くなり、そのお悔やみのために岸谷家に行く、ということと蓮の母親が蓮に伝えている場面であることがわかる。ここで蓮は、蓮の母親から「サヤ」かもしれない人の話が出てきたことに驚いているのである。

3 (A)には予想外の情報を伝えられ、蓮が混乱している様子を表すことばとして「ぐらぐら」が入る。(B)には多量の涙がこぼれる様子を表すことばとして「ぼろぼろ」が入る。(C)には激しく泣く様子を表すことばとして「わんわん」が入る。(D)には泣き続けている蓮の表情を表すことばとして「ぐちゃぐちゃ」が入る。

4 蓮の母の「考え」として答えをまとめることに注意しよう。Iについては蓮の母は「岸谷沙耶ちゃん」と呼んでいた。

5 Xの八行前で、「知らない大人がたくさんいた。人が死んだときに黒い服を着るのって嫌だよ」という表現があった。この場面での「大人たち」の様子を漢字一字で表すのであれば、喪服の「黒」が適当であろう。

6 線③を含む一文を読めば、「サヤ」が「寝ている」、つまりサヤの遺体が安置されている棺であることがわかる。蓮がサヤの母親と会話を進めたあと、サヤの遺体が安置されている場所へ駆け寄り泣いている様子をイメージできていれば容易であろう。

7 蓮がなぜここで「動かない」のかを考える。「サヤ」の死に顔を見してしまうことで、「サヤ」が亡くなってしまったということを受け入れたくないのである。六行前の「気持ちの整理ができないまま…」という表現にも注目したい。

8 「サヤ」が、夏休みに自宅で蓮にピアノを教えていたことを本文全体から読み取ってほしい。問4の◎の一文も手がかりになる。直前の一文に書かれていた、「誰にも見せたくない」を手がかりにして考えよう。

10 「サヤ」は心臓病のために若くして亡くなったが、亡くなる前に蓮に「ピアノ」の素晴らしさを伝えたのである。蓮は「サヤ」から手紙を読み、彼女から受け継いだものを守っていこうと決意したのである。

11 通読時に違和感を持つことが出来ているのが理想的な読み方だろう。家の中の様子↓「蓮くん、よね？」↓「話しかけられて、跳びあがった」という流れである。

以上